

令和9年度

福知山公立大学 入学者選抜要項

(一般選抜・学校推薦型選抜・総合型選抜)

本選抜要項の掲載内容については今後変更の可能性があります。
出願に際しては、各選抜区分の学生募集要項を必ず確認してください。
学生募集要項の公表時期は次ページで確認をしてください。



福知山公立大学

The University of Fukuchiyama

地域経営学部 地域経営学科 / 情報学部 情報学科

学生募集要項について

本選抜要項には、令和9年度福知山公立大学入学者選抜（一般選抜・学校推薦型選抜・総合型選抜）に関する基本的な事項についてのみ記載しています。今後、変更が生じる可能性もありますので、出願に際しては各選抜区分の学生募集要項を必ず確認してください。また、私費外国人留学生選抜・社会人選抜・編入学選抜については、本選抜要項に掲載していませんので、各選抜区分の学生募集要項を必ず確認してください。

各選抜区分の学生募集要項の公表予定は以下のとおりです。

選抜区分	公表時期(予定)	公表方法
一般選抜・学校推薦型選抜	令和8年8月下旬	本学ホームページ・冊子
総合型選抜	令和8年7月上旬	本学ホームページ
私費外国人留学生選抜	令和8年8月下旬	本学ホームページ
編入学選抜・社会人選抜 (地域経営学部)	令和8年7月中旬	本学ホームページ
編入学選抜 (情報学部)	公表中	本学ホームページ

令和9年度福知山公立大学学生募集要項（一般選抜・学校推薦型選抜）のみ冊子を発行します。冊子については、本学ホームページからテレメールを利用し請求してください。請求は、本学の入学案内（大学案内）と学生募集要項のセットとなります（無料）。以下のQRコードから請求してください。

募集要項請求



Web出願について

出願に際しては、Web出願サイトでの登録が必要です。Web出願の流れは、各選抜区分の学生募集要項を確認してください。

令和9年度 福知山公立大学 入学者選抜要項

-目次-

基本理念／アドミッション・ポリシー	3
令和9年度 選抜概要	5
出願資格／受験上の配慮について	6
地域経営学部	
一般選抜 前期日程（6教科型）	7
一般選抜 前期日程（3教科型）	9
一般選抜 後期日程	11
学校推薦型選抜	13
総合型選抜Ⅰ	15
情報学部	
一般選抜 前期日程（6教科型）	17
一般選抜 前期日程（4教科型）	19
一般選抜 後期日程	21
学校推薦型選抜	23
総合型選抜Ⅰ	25
総合型選抜Ⅱ	27
令和8年度 入試実施状況	
①志願者数・受験者数・合格者数・入学者数	29
②地区別（都道府県）志願・入学状況	30
③地域経営学部 志願者出身高等学校一覧	31
④情報学部 志願者出身高等学校一覧	32
⑤総合型選抜・小論文・数学試験の全体講評	33
⑥地域経営学部 一般選抜前期日程 小論文試験問題	35
⑦地域経営学部 学校推薦型選抜 小論文試験問題	36
⑧地域経営学部 総合型選抜Ⅰ プレゼンテーション準備試験問題	37
⑨情報学部 一般選抜前期日程 小論文・数学試験問題	38
⑩情報学部 学校推薦型選抜 小論文試験問題	39
⑪情報学部 総合型選抜Ⅰ 小論文試験問題	39

基本理念

市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学

アドミッション・ポリシー

福知山公立大学は、大学全体及び各学部の入学者受入れの方針を以下のように定めています。

福知山公立大学

福知山公立大学は、地域社会について関心を持ち、地域社会の発展に貢献する意欲や地域社会と協働する意欲を持ち、主体的に学び考える力のある者、またはその可能性がある者と判断できる者を受け入れる。このため、幅広い教科・科目における基礎的な学力を有することを望む。また、社会と情報の関わりを学ぶ意欲や社会の課題について考え表現する力を有することを望む。

地域経営学部

地域経営学部地域経営学科は、地域社会に貢献する意思をもつ多様な入学者を受け入れるため、「学力の3要素」に基づいて、幅広い基礎的・基本的な知識・技能（以下「知識・技能」と表記する）、知識・技能を活用できる思考力・判断力（以下「思考力・判断力」と表記する）ならびに自らの思考や判断を他者に伝える表現力（以下「表現力」と表記する）とともに地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度（以下「協働する態度」と表記する）を適切に評価することで、入学者の選抜を行う。

このため、大学入学までに、幅広い教養と基礎学力を身につけていることを求める。そのため、特定の教科に偏ることなく学習し、すべての教科における基礎的な学力を身につけることを望む。また、社会と情報の関わりに関心を持ち、客観的に資料や文章を読む力やその理解を表す力などの基本的なコミュニケーション能力の習得も望む。

すべての選抜において「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」「協働する態度」を多面的・総合的に評価する。評価においては、大学入学共通テスト、個別学力検査、志願者本人が提出する資料、調査書、面接、小論文、プレゼンテーション等を各々の選抜が重視する要素に従い、適切に組み合わせて利用する。一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜のそれぞれにおいて重視する学力の要素は、下記の表に示す通りである。

学力の3要素		知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度
一般選抜 前期	大学入学共通テスト	○	○		
	個別学力検査※	○	○	○	
	調査書	○			○
一般選抜 後期	大学入学共通テスト	○	○		
	個別学力検査※	○	○	○	
	調査書	○			○
学校推薦型 選抜	出願書類 (調査書・推薦書・自己アピール書)	○			○
	面接		○	○	○
	小論文	○	○	○	
総合型選抜 I	出願書類 (調査書・自己推薦書)	○		○	○
	面接			○	○
	プレゼンテーション	○		○	

※「個別学力検査」は、一般選抜 前期日程及び後期日程ともに「小論文」試験を実施する。他の入学者選抜については、別途定める。

情報学部

情報学部情報学科は、地域社会に貢献する意思をもつ多様な入学者を受け入れるため、「学力の3要素」に基づいて、数学や情報学の基礎的・基本的な知識・技能（以下「知識・技能」と表記する）、幅広い知識・技能を活用できる思考力・判断力（以下「思考力・判断力」と表記する）ならびに自らの思考や判断を他者に伝える表現力（以下「表現力」と表記する）とともに地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度（以下「協働する態度」と表記する）を適切に評価することで、入学者の選抜を行う。

このため、大学入学までに、数学を中心にしつつ、各教科においてもしっかりした基礎的な学力を身につけることを望む。また、社会に貢献する情報技術のあり方について、自ら思考できる力と、その内容を表現し他者と共有できる力を身につけるための経験を積むことを望む。

すべての選抜において「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」「協働する態度」を多面的・総合的に評価する。評価においては、大学入学共通テスト、個別学力検査、志願者本人が提出する資料、調査書、面接、小論文等を各々の選抜が重視する要素に従い、適切に組み合わせて利用する。一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜のそれぞれにおいて重視する学力の要素は、下記の表に示す通りである。

学力の3要素		知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度
一般選抜 前期	大学入学共通テスト	○	○		
	個別学力検査※1	○	○	○	
	調査書	○			○
一般選抜 後期	大学入学共通テスト	○	○		
	個別学力検査※2	○	○	○	
	調査書	○			○
学校推薦型 選抜	出願書類 (調査書・推薦書・自己アピール書)	○			○
	面接		○	○	○
	小論文	○	○	○	
総合型選抜 Ⅰ	出願書類 (調査書・自己推薦書)	○		○	○
	面接		○	○	○
	小論文	○	○	○	
総合型選抜 Ⅱ	出願書類 (調査書・自己推薦書)	○		○	○
	面接		○	○	○
	大学入学共通テスト	○	○		

※1「個別学力検査」は、一般選抜 前期日程においては「小論文又は数学」試験を実施する。

※2「個別学力検査」は、一般選抜 後期日程においては「小論文」試験を実施する。

他の入学選抜については、別途定める。

令和9年度 選抜概要

1 学部・学科・入学定員

学部・学科	地域経営学部 地域経営学科	情報学部 情報学科	合計
入学定員	100名	120名	220名

2 選抜日程

地域経営学部

選抜区分		募集人員	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続期間
一般選抜	前期日程	6教科型 34名	1/25 (月)～ 2/3 (水) 消印有効	2/25(木)	本学 大阪	3/8(月)	3/8(月)～ 3/15(月)必着
		3教科型 15名					
	後期日程	10名		3/12(金)	本学	3/21(日)	
学校推薦型選抜		全国枠20名 地域枠12名 専門学科枠3名	11/1(日)～ 11/6(金) 消印有効	11/14(土)	本学	12/2(水)	12/2(水)～ 12/9(水)必着
総合型選抜 I		6名	9/1(火)～ 9/8(火) 消印有効	10/10(土)	本学	第1次選考 9/24(木) 11/1(日)	11/1(日)～ 11/10(火)必着

情報学部

選抜区分		募集人員	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続期間
一般選抜	前期日程	6教科型 45名	1/25 (月)～ 2/3 (水) 消印有効	2/25(木)	本学 大阪	3/8(月)	3/8(月)～ 3/15(月)必着
		4教科型 20名					
	後期日程	10名		3/12(金)	本学	3/21(日)	
学校推薦型選抜		全国枠20名 地域枠10名 専門学科枠5名	11/1(日)～ 11/6(金) 消印有効	11/15(日)	本学	12/2(水)	12/2(水)～ 12/9(水)必着
総合型選抜	I	5名	9/1(火)～ 9/8(火) 消印有効	10/11(日) <small>予備日:10/12(月・祝)</small>	本学	11/1(日)	11/1(日)～ 11/10(火)必着
	II	5名				2/10(水)	2/10(水)～ 2/16(火)必着

- 一般選抜は、「分離・分割方式（前期日程・後期日程）」で実施します。
- 一般選抜前期日程は、地域経営学部（6教科型と3教科型）、情報学部（6教科型と4教科型）からいずれか1つを選択してください。
- 本学は基本理念に基づき、北近畿地域における高等教育機関への進学機会を提供することを目的として、学校推薦型選抜で「地域枠」（「全国枠」としての選抜対象にもなる）を設定しています。また、多様な学生を受け入れることを目的として「専門学科枠」を設定しています。
- 両学部の総合型選抜 I は大学入学共通テストを課しません。情報学部の総合型選抜 II は大学入学共通テストを課す選抜です。
- 地域経営学部の総合型選抜 I の第1次選考は、志願者数が募集人員の概ね3倍を超えた場合に実施します。実施の有無は、9/11（金）に本学のホームページに公表します。
- 情報学部の総合型選抜 I 及び II は、志願者数によって2日間（10/11、12）の実施とする場合があります。ただし、2日間の実施となった場合も選抜区分ごとになずれか1日で実施します。日程変更がある場合は、事前に本学ホームページ等でお知らせします。
- 総合型選抜 I と II は併願することができません。
- 総合型選抜 II と学校推薦型選抜は併願することができません。

ホームページ



出願資格

1 学校推薦型選抜（両学部）

各選抜ページで確認してください。

2 一般選抜 前期日程・後期日程及び総合型選抜(両学部)

次の（１）～（３）のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の（ア）～（カ）のいずれかに該当する者
 - (ア) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
 - (ウ) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
 - (エ) 文部科学大臣の指定した者
 - (オ) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者
 - (カ) その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者

※出願審査について

上記（３）の（カ）資格で出願する場合は、事前に出願資格審査を行います。出願開始日の1か月前までに入試係へお問い合わせください。

受験上の配慮について

障害や疾病等で受験上特別な配慮を希望する志願者については、その配慮内容について本学と事前相談を行うことにしています。出願を予定している選抜区分の出願開始日の2週間程度前までに、入試係まで連絡の上、次の書類を送付してください。

（電話 0773-24-7100 / メール admission@fukuchiyama.ac.jp）

- (1) 受験上の配慮申請書（本学所定の様式）
※ホームページからダウンロードしてください。
- (2) 障害や疾病等の種類・程度が分かる書類
状況を説明する書類、医師の診断書の写し、障害者手帳の写し等

受験上の配慮申請書



地域経営学部 一般選抜 前期日程(6教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月25日(月)～ 2月3日(水) 消印有効	2月25日(木)	3月8日(月)	3月8日(月)～ 3月15日(月) 必着

2 募集人員

地域経営学科 34名

3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者

4 出願書類

Web出願・出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。



(2) 調査書 (出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書(本学所定の様式による)を提出してください。調査書代替書は本学ホームページからダウンロードしてください。

5 選抜方法等

一般選抜では、本学のアドミッション・ポリシーに基づいて入学志願者の能力・意欲・適性等を大学入学共通テスト、小論文を中心に多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (6教科6科目)	高等学校等において履修する科目より習得した基礎学力、地域経営学部で学ぶ上で必要な思考力・判断力を評価する。	1200点
小論文	現代社会の課題についての資料[文章(英文を含む)や図表等]を基にした出題より、文章や図表等を理解するために必要な知識・技能と、分析し考察する思考力・判断力、自らの考えをわかりやすく伝える表現力を評価する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用する。調査書は、高等学校等において履修する科目より習得した知識・技能及び高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
大学入学共通テスト (6教科6科目)	○	○		
小論文	○	○	○	
調査書	○			○

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（6教科6科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	200点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	200点
数学	「数学Ⅰ，数学A」 } から1 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 }	200点
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 } から1 「物理」「化学」「生物」「地学」 }	200点
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	200点
情報	「情報Ⅰ」	200点
合計		1200点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合もいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

【小論文】

- ・90分間の小論文試験を行います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場又は大阪会場で受験できます。Web出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、本学会場での受験となる可能性があります。本学受験票記載の試験会場を必ず確認してください。

- 1 本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
- 2 大阪会場（難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング）

地域経営学部 一般選抜 前期日程(3教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月25日(月)～ 2月3日(水) 消印有効	2月25日(木)	3月8日(月)	3月8日(月)～ 3月15日(月) 必着

2 募集人員

地域経営学科 15名

3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者

4 出願書類

Web出願・出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書 (出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書(本学所定の様式による)を提出してください。調査書代替書は本学ホームページからダウンロードしてください。



5 選抜方法等

一般選抜では、本学のアドミッション・ポリシーに基づいて入学志願者の能力・意欲・適性等を大学入学共通テスト、小論文を中心に多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (3教科3科目)	高等学校等において履修する科目より習得した基礎学力、地域経営学部で学ぶ上で必要な思考力・判断力を評価する。	600点
小論文	現代社会の課題についての資料[文章(英文を含む)や図表等]を基にした出題より、文章や図表等を理解するために必要な知識・技能と、分析し考察する思考力・判断力、自らの考えをわかりやすく伝える表現力を評価する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用する。調査書は、高等学校等において履修する科目より習得した知識・技能及び高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
大学入学共通テスト (3教科3科目)	○	○		
小論文	○	○	○	
調査書	○			○

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（3教科3科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	高得点 3教科 200点 200点 200点 600点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	
数学	「数学Ⅰ，数学A」 } から1 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 }	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 } から1 「物理」「化学」「生物」「地学」 }	
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
情報	「情報Ⅰ」	
合計		600点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合もいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

【小論文】

- ・90分間の小論文試験を行います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場又は大阪会場で受験できます。Web出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、本学会場での受験となる可能性があります。本学受験票記載の試験会場を必ず確認してください。

- 1 本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
- 2 大阪会場（難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング）

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月25日(月)～ 2月3日(水) 消印有効	3月12日(金)	3月21日(日)	3月21日(日)～ 3月27日(土) 必着

2 募集人員

地域経営学科 10名

3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者

4 出願書類

Web出願・出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書 (出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書(本学所定の様式による)を提出してください。調査書代替書は本学ホームページからダウンロードしてください。



5 選抜方法等

一般選抜では、本学のアドミッション・ポリシーに基づいて入学志願者の能力・意欲・適性等を大学入学共通テスト、小論文を中心に多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (4教科4科目)	高等学校等において履修する科目より習得した基礎学力、地域経営学部で学ぶ上で必要な思考力・判断力を評価する。	800点
小論文	現代社会の課題についての資料[文章(英文を含む)や図表等]を基にした出題より、文章や図表等を理解するために必要な知識・技能と、分析し考察する思考力・判断力、自らの考えをわかりやすく伝える表現力を評価する。	200点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用する。調査書は、高等学校等において履修する科目より習得した知識・技能及び高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
大学入学共通テスト (4教科4科目)	○	○		
小論文	○	○	○	
調査書	○			○

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（4教科4科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	高得点 4教科 200点 200点 200点 200点 800点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	
数学	「数学Ⅰ，数学A」 } から1 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 }	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 } から1 「物理」「化学」「生物」「地学」 }	
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
情報	「情報Ⅰ」	
合計		

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合もいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

【小論文】

- ・90分間の小論文試験を行います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
11月1日(日)～ 11月6日(金) 消印有効	11月14日(土)	12月2日(水)	12月2日(水)～ 12月9日(水) 必着

2 募集人員

地域経営学科 全国枠20名、地域枠12名、専門学科枠3名

※本学は基本理念に基づき、北近畿地域における高等教育機関への進学機会を提供することを目的として、学校推薦型選抜において「地域枠」（「全国枠」としての選抜対象にもなる）を設定しています。また、多様な学生を受け入れることを目的として「専門学科枠」を設定しています。

3 出願資格

1つの高等学校から推薦できる人数に上限はありません。

各枠の出願資格を有する場合は、いずれかの枠を選んで出願することができます。併願不可

【全国枠】

次の(1)～(4)の全てを満たす者

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者(単位制高等学校等で令和8年度の途中に卒業する者を含む。
なお、過年度生等の出願は不可とする)
- (2)合格した場合は入学することを確約できる者
- (3)本学及び本学部のアドミッション・ポリシーに合致し、特にコミュニケーション能力が優れていると学校長が認め、推薦する者
- (4)全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.8以上の者

【地域枠】

全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ次の市町に所在する高等学校の生徒

- ・京都府：京都市右京区（ただし旧京北町に限る）、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、京丹波町、伊根町、与謝野町
- ・兵庫県：豊岡市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、香美町、新温泉町

【専門学科枠】

全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ以下の(ア)(イ)を満たす者

- (ア)普通科、理数科等以外の専門教育を主とする学科及び総合学科出身の者
- (イ)次のいずれかの資格を取得している者

- ・日本商工会議所主催 簿記検定試験2級以上
- ・全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定試験1級
- ・独立行政法人情報処理推進機構主催の情報処理技術者試験のいずれかの試験区分（ITパスポート試験を含む）

4 出願書類

- (1)志願票
- (2)調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）
- (3)学校長推薦書（本学所定の様式により厳封したもの）
- (4)自己アピール書（本学所定の様式による）
- (5)専門学科枠で出願する者は(イ)を証明するもの（複写可）

※（1）はWeb出願サイトに登録し、印刷してください。

※（3）（4）は本学ホームページからダウンロードしてください。

Web出願・出願書類



5 選抜方法等

学校推薦型選抜では、本学のアドミッション・ポリシーに基づいて入学志願者の知識・技能、思考力・判断力、表現力等を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
出願書類 (調査書、学校長推薦書、自己アピール書)	高等学校等において履修する科目より習得した知識・技能と、自らの経験や活動で得た主体性や協働する態度を評価する。	100点
面接 (個別)	社会と情報の関わりや地域社会が抱える諸問題に関心を寄せ、その現状や対応状況について理解し考察できる思考力・判断力と、コミュニケーションにおいて発言の意図を理解し、それに応じてわかりやすく考えを伝える表現力を評価する。また、さらに本学の地域協働型教育において地域社会が抱える問題に向き合い貢献しようとする意欲を持ち、地域社会において多様な人々と主体性を持ち協働する態度を評価する。	
小論文	現代社会の課題についての資料〔文章(英文を含む)や図表等〕を基にした出題より、文章や図表等を理解するために必要な知識・技能と、分析し考察する思考力・判断力、自らの考えをわかりやすく伝える表現力を評価する。	100点

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
出願書類 (調査書、学校長推薦書、自己アピール書)	○			○
面接		○	○	○
小論文	○	○	○	

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【面接】

- ・10分程度の個別面接を行います。

【小論文】

- ・90分間の小論文試験を行います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分	11時30分～12時45分	12時45分	13時00分～
入室可能時間	指定席に着席	小論文	休憩	指定席に着席	面接

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・面接試験は、12時45分までに指定席に着席をしていない場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
9月1日(火)～ 9月8日(火)消印有効	10月10日(土)	第1次選考 9月24日(木)	11月1日(日)～ 11月10日(火)必着
		11月1日(日)	

2 募集人員

地域経営学科 6名

3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、合格した場合は入学することを確約できる者
※過年度生等の出願は可とする。

4 出願書類

(1)志願票

(2)調査書(出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書(本学所定の様式による)を提出してください。

(3)自己推薦書(本学所定の様式による)

※(1)はWeb出願サイトに登録し、印刷してください。

※(2)調査書代替書及び(3)は本学ホームページからダウンロードしてください。

Web出願・出願書類



5 選抜方法等

総合型選抜では、本学のアドミッション・ポリシーに基づいて入学志願者が自ら表現する能力・適性、学習意欲、目的意識等を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたとように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
出願書類 (調査書、自己推薦書)	高等学校等において履修する科目より習得した知識・技能と、能力や適性を適切に伝えるための表現力、自らの経験や活動で得た主体性や協働する態度を評価する。	100点
面接 (個別)	社会と情報の関わりや地域社会が抱える諸問題に関心を寄せ、その現状や対応状況について理解し考察できる思考力・判断力と、コミュニケーションにおいて発言の意図を理解し、それに応じてわかりやすく考えを伝える表現力を評価する。また、さらに本学の地域協働型教育において地域社会が抱える問題に向き合い貢献しようとする意欲を持ち、地域社会において多様な人々と主体性を持ち協働する態度を評価する。	100点
プレゼンテーション (個別)	現代社会の諸問題を理解するための基礎的な知識・技能、与えられた資料を読み解き、経験や知識と関連付けて問題を設定し、多様な解決のアイデアを考え最も有効な提案にまとめ上げる思考力・判断力を評価する。また、その提案を他者にわかりやすく伝え、説得的なコミュニケーションを行う表現力を重視する。	100点

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	協働する態度※
出願書類 (調査書、自己推薦書)	○	○	○
面接		○	○
プレゼンテーション	○	○	

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

- ・第1次選考は、志願者数が募集人員の概ね3倍を超えた場合に実施します。実施の有無は、9月11日（金）に本学のホームページに公表します。
- ・第1次選考は出願書類により、総合的に判定します。
- ・第2次選考は、第1次選考合格者に対して、プレゼンテーション及び面接を行い、第1次選考の出願書類と併せて総合的に評価します。
- ・プレゼンテーションの課題は当日提示します。現代社会の諸問題に関する資料を複数配布しますので、その資料をもとに、経験や知識と関連づけて問題を設定し、多様な解決のアイデアを考え、画用紙（A3サイズ）10枚以内にまとめてください。
- ・プレゼンテーション発表・質疑応答の時間は10分程度です。プレゼンテーションは5分以内で行い、残る時間で質疑応答を行います。
- ・プレゼンテーション準備でまとめた制作物（画用紙10枚以内）も評価対象となります。
- ・面接は10分程度の個別面接を行います。

6 試験時間割

※試験時間割は変更となる場合があります。出願に際しては必ず学生募集要項をご確認ください。

9時00分	10時00分	10時30分～ 12時00分	12時00分～ 12時45分	12時45分	13時00分～	
入室 可能時間	指定席に 着席	プレゼンテーション 準備	休憩	指定席に 着席	プレゼンテーション 発表・質疑応答	面接

- ・受付は行いませんので、10時00分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・プレゼンテーション準備は、開始時間から30分までの遅刻に限り出席を認めます。30分以上遅刻した場合は出席を認めません。なお、プレゼンテーション準備に出席しなかった場合は、午後からのプレゼンテーション発表・質疑応答を受験することができません。
- ・プレゼンテーション発表・質疑応答は、12時45分までに指定席に着席をしていない場合も受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

8 留意事項

総合型選抜Ⅰにおいて不合格となった場合は、本学及び他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜、一般選抜及び総合型選抜（本学の総合型選抜Ⅱを除く。）に出願することができます。ただし、出願に際しては、志望する大学・学部等の各選抜区分の出願資格を満たしたうえで、新たに出願登録及び検定料納入することが必要となります。

情報学部 一般選抜 前期日程(6教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月25日(月)～ 2月3日(水) 消印有効	2月25日(木)	3月8日(月)	3月8日(月)～ 3月15日(月) 必着

2 募集人員

情報学科 45名

3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者

4 出願書類

Web出願・出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。



(2) 調査書 (出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書(本学所定の様式による)を提出してください。調査書代替書は本学ホームページからダウンロードしてください。

5 選抜方法等

一般選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (6教科7科目)	大学入学共通テストにより、高等学校全般の学習を前提とした基礎学力及び情報学部で学ぶうえで必要な思考力・判断力を評価する。	1200点
小論文又は数学 数学の出題範囲： 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C	小論文又は数学のいずれかを選択し、評価を行う。 小論文では、社会と情報技術の関係に関する出題を通じて、関連する知識を理解し、その知識を効果的に活用する思考力を評価する。また、さらに自分自身の考えを適切に表現する力も重視する。 数学では、情報学を学ぶための基盤となる数学の基礎的・基本的な知識・技能、幅広い知識・技能を活用できる思考力・判断力、及び自らの思考や判断を他者に伝える表現力を評価する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を判断材料として活用する。調査書は、高等学校全般の学習を前提とした基礎学力、高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
大学入学共通テスト (6教科7科目)	○	○		
小論文又は数学	○	○	○	
調査書	○			○

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（6教科7科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	200点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	200点
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	200点
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 } から1	200点
数学	「数学Ⅰ，数学A」及び「数学Ⅱ，数学B，数学C」	150点 150点
情報	「情報Ⅰ」	100点
合計		1200点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合はいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

【小論文又は数学】

- ・90分間の小論文試験又は数学試験を行います。
- ・小論文試験又は数学試験のいずれかを試験当日に選択してください。事前申請は必要ありません。
- ・小論文試験と数学試験は得点調整を行うことがあります。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文又は数学

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文又は数学試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場又は大阪会場で受験できます。Web出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、本学会場での受験となる可能性があります。本学受験票記載の試験会場を必ず確認してください。

- 1 本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
- 2 大阪会場（難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング）

情報学部 一般選抜 前期日程(4教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月25日(月)～ 2月3日(水) 消印有効	2月25日(木)	3月8日(月)	3月8日(月)～ 3月15日(月) 必着

2 募集人員

情報学科 20名

3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者

4 出願書類

Web出願・出願書類



(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書(出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書(本学所定の様式による)を提出してください。調査書代替書は本学ホームページからダウンロードしてください。

5 選抜方法等

一般選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (4教科5科目)	大学入学共通テストにより、高等学校全般の学習を前提とした基礎学力及び情報学部で学ぶうえで必要な思考力・判断力を評価する。	800点
小論文又は数学 数学の出題範囲： 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C	小論文又は数学のいずれかを選択し、評価を行う。 小論文では、社会と情報技術の関係に関する出題を通じて、関連する知識を理解し、その知識を効果的に活用する思考力を評価する。また、さらに自分自身の考えを適切に表現する力も重視する。 数学では、情報学を学ぶための基盤となる数学の基礎的・基本的な知識・技能、幅広い知識・技能を活用できる思考力・判断力、及び自らの思考や判断を他者に伝える表現力を評価する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を判断材料として活用する。調査書は、高等学校全般の学習を前提とした基礎学力、高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
大学入学共通テスト (4教科5科目)	○	○		
小論文又は数学	○	○	○	
調査書	○			○

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（4教科5科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	高得点 1教科 200点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 } から1 「物理」「化学」「生物」「地学」	200点
数学	「数学Ⅰ，数学A」及び「数学Ⅱ，数学B，数学C」	150点 150点
情報	「情報Ⅰ」	100点
合計		800点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合はいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

【小論文又は数学】

- ・90分間の小論文試験又は数学試験を行います。
- ・小論文試験又は数学試験のいずれかを試験当日に選択してください。事前申請は必要ありません。
- ・小論文試験と数学試験は得点調整を行うことがあります。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文又は数学

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文又は数学試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場又は大阪会場で受験できます。Web出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、本学会場での受験となる可能性があります。本学受験票記載の試験会場を必ず確認してください。

- 1 本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市宇堀3370）
- 2 大阪会場（難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング）

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月25日(月)～ 2月3日(水) 消印有効	3月12日(金)	3月21日(日)	3月21日(日)～ 3月27日(土) 必着

2 募集人員

情報学科 10名

3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者

4 出願書類

Web出願・出願書類



(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書 (出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書(本学所定の様式による)を提出してください。調査書代替書は本学ホームページからダウンロードしてください。

5 選抜方法等

一般選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (5教科6科目)	大学入学共通テストにより、高等学校全般の学習を前提とした基礎学力及び情報学部で学ぶうえで必要な思考力・判断力を評価する。	1000点
小論文	社会と情報技術の関係に関する出題を通じて、関連する知識を理解し、その知識を効果的に活用する思考力を評価する。また、さらに自分自身の考えを適切に表現する力も重視する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を判断材料として活用する。調査書は、高等学校全般の学習を前提とした基礎学力、高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
大学入学共通テスト (5教科6科目)	○	○		
小論文	○	○	○	
調査書	○			○

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（5教科6科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	高得点 3教科 200点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 } から1 「物理」「化学」「生物」「地学」	200点
数学	「数学Ⅰ，数学A」及び「数学Ⅱ，数学B，数学C」	150点 150点
情報	「情報Ⅰ」	100点
合計		1000点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合はいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

【小論文】

- ・90分間の小論文試験を行います。

6 試験時間割

13時30分	14時30分	15時00分～16時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付は行いませんので、14時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
11月1日(日)～ 11月6日(金) 消印有効	11月15日(日)	12月2日(水)	12月2日(水)～ 12月9日(水) 必着

2 募集人員

情報学科 全国枠20名、地域枠10名、専門学科枠5名

※本学は基本理念に基づき、北近畿地域における高等教育機関への進学機会を提供することを目的として、学校推薦型選抜において「地域枠」（「全国枠」としての選抜対象にもなる）を設定しています。また、多様な学生を受け入れることを目的として「専門学科枠」を設定しています。

3 出願資格

1つの高等学校から推薦できる人数に上限はありません。

各枠の出願資格を有する場合は、いずれかの枠を選んで出願することができます。併願不可

【全国枠】

次の(1)～(4)の全てを満たす者

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者（単位制高等学校等で令和8年度の途中に卒業する者を含む。なお、過年度生等の出願は不可とする）
- (2)合格した場合は入学することを確約できる者
- (3)本学及び本学部のアドミッション・ポリシーに合致していると学校長が認め、推薦する者
- (4)全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.8以上の者

【地域枠】

全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ次の市町に所在する高等学校の生徒

- ・京都府：京都市右京区（ただし旧京北町に限る）、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、京丹波町、伊根町、与謝野町
- ・兵庫県：豊岡市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、香美町、新温泉町

【専門学科枠】

全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ以下を満たす者

- ・工業、商業又は情報に関する教科・科目を20単位以上修得見込みの者

4 出願書類

- (1)志願票
- (2)調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）
- (3)学校長推薦書（本学所定の様式により厳封したもの）
- (4)自己アピール書（本学所定の様式による）

※（1）はWeb出願サイトに登録し、印刷してください。

※（3）（4）は本学ホームページからダウンロードしてください。

Web出願・出願書類



5 選抜方法等

学校推薦型選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
出願書類 (調査書、学校長推薦書、自己アピール書)	調査書、学校長推薦書、及び自己アピール書により、高等学校全般の学習を前提とした知識・技能と、自らの経験や活動で得た主体性や協働する態度を評価する。	50点
面接 (個別)	出願書類をもとにした質疑応答及び高等学校での学習内容を前提とした基礎学力に関する質疑応答を行う。その中で、情報学を通じて社会に貢献するために必要な思考力や判断力、自分の考えを論理的に伝える能力、さらに地域社会の多様な人々と協力しながら学び続ける態度を評価する。	50点
小論文	社会と情報技術の関係に関する出題を通じて、関連する知識を理解し、その知識を効果的に活用する思考力を評価する。また、さらに自分自身の考えを適切に表現する力も重視する。	50点

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
出願書類 (調査書、学校長推薦書、自己アピール書)	○			○
面接		○	○	○
小論文	○	○	○	

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【面接】

- ・10分程度の個別面接を行います。

【小論文】

- ・90分間の小論文試験を行います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分	11時30分～12時45分	12時45分	13時00分～
入室可能時間	指定席に着席	小論文	休憩	指定席に着席	面接

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・面接試験は、12時45分までに指定席に着席をしていない場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市宇堀3370）

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
9月1日(火)～ 9月8日(火) 消印有効	10月11日(日) 予備日:10月12日(月・祝)	11月1日(日)	11月1日(日)～ 11月10日(火) 必着

総合型選抜 I 及び II は、志願者数によって2日間の実施とする場合があります。ただし、2日間の実施となった場合も選抜区分ごとにいずれか1日で実施します。日程変更がある場合は、事前に本学ホームページ等でお知らせします。

2 募集人員

情報学科 5名

ホームページ



3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、合格した場合は入学することを確約できる者

※ 過年度生等の出願は可とする。総合型選抜 II との併願不可

4 出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書 (出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書 (本学所定の様式による) を提出してください。

(3) 自己推薦書 (本学所定の様式による)

Web出願・出願書類

※(1)はWeb出願サイトに登録し、印刷してください。

※(2)調査書代替書及び(3)は本学ホームページからダウンロードしてください。



5 選抜方法等

総合型選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
出願書類 (調査書、自己推薦書)	調査書及び自己推薦書により、高等学校全般の学習を前提とした知識・技能と、自らの経験や活動で得た主体性や協働する態度、能力や適性を適切に伝えるための表現力を評価する。	50点
面接 (個別)	出願書類をもとにした質疑応答及び高等学校での学習内容を前提とした基礎学力に関する質疑応答を行う。その中で、情報学を通じて社会に貢献するために必要な思考力や判断力、自分の考えを論理的に伝える能力、さらに地域社会の多様な人々と協力しながら学び続ける態度を評価する。	50点
小論文	社会と情報技術の関係に関する出題を通じて、関連する知識を理解し、その知識を効果的に活用する思考力を評価する。また、さらに自分自身の考えを適切に表現する力も重視する。	50点

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
出願書類 (調査書、自己推薦書)	○		○	○
面接		○	○	○
小論文	○	○	○	

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【面接】

- ・ 10分程度の個別面接を行います。

【小論文】

- ・ 90分間の小論文試験を行います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～ 11時30分	11時30分～ 12時45分	12時45分	13時00分～
入室可能時間	指定席に着席	小論文	休憩	指定席に着席	面接

- ・ 受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・ 着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・ 小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・ 面接試験は、12時45分までに指定席に着席をしていない場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

8 留意事項

総合型選抜Ⅰにおいて不合格となった場合は、本学及び他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜、一般選抜及び総合型選抜（本学の総合型選抜Ⅱを除く。）に出願することができます。ただし、出願に際しては、志望する大学・学部等の各選抜区分の出願資格を満たしたうえで、新たに出願登録及び検定料納入することが必要となります。

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
9月1日(火)～ 9月8日(火) 消印有効	10月11日(日) 予備日:10月12日(月・祝)	2月10日(水)	2月10日(水)～ 2月16日(火) 必着

総合型選抜Ⅰ及びⅡは、志願者数によって2日間の実施とする場合があります。ただし、2日間の実施となった場合も選抜区分ごとにいずれか1日で実施します。日程変更がある場合は、事前に本学ホームページ等でお知らせします。

2 募集人員

情報学科 5名

ホームページ



3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者、かつ合格した場合は入学することを確約できる者

※ 過年度生等の出願は可とする。総合型選抜Ⅰとの併願不可

4 出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書 (出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書 (本学所定の様式による) を提出してください。

(3) 自己推薦書 (本学所定の様式による)

※(1)はWeb出願サイトに登録し、印刷してください。

※(2)調査書代替書及び(3)は本学ホームページからダウンロードしてください。

Web出願・出願書類



5 選抜方法等

総合型選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
出願書類 (調査書、自己推薦書)	調査書及び自己推薦書により、高等学校全般の学習を前提とした知識・技能と、自らの経験や活動で得た主体性や協働する態度、能力や適性を適切に伝えるための表現力を評価する。	100点
面接 (個別)	出願書類をもとにした質疑応答及び高等学校での学習内容を前提とした基礎学力に関する質疑応答を行う。その中で、情報学を通じて社会に貢献するために必要な思考力や判断力、自分の考えを論理的に伝える能力、さらに地域社会の多様な人々と協力しながら学び続ける態度を評価する。	200点
大学入学共通テスト (4教科5科目)	大学入学共通テストにより、高等学校全般の学習を前提とした基礎学力、及び情報学部で学ぶうえで必要な思考力・判断力を評価する。	800点

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
出願書類 (調査書、自己推薦書)	○		○	○
面接		○	○	○
大学入学共通テスト (4教科5科目)	○	○		

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【面接】

- ・10分程度の個別面接を行います。

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（4教科5科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	高得点 1教科 200点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 } から1	200点
数学	「数学Ⅰ，数学A」及び「数学Ⅱ，数学B，数学C」	150点 150点
情報	「情報Ⅰ」	100点
合計		800点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合はいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～
入室可能時間	指定席に着席	面接

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・指定席への着席時間を15分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

8 留意事項

- (1) 総合型選抜Ⅱの志願者には、令和9年度大学入学共通テストの受験を課しています。本学では大学入学共通テストの成績請求情報の提供方法として「Web方式」で行います。そのため、大学入学共通テストへの出願後、指定する期間内に本学のWeb出願サイトから大学入試センターとのWebAPI連携の手続きを行い、「大学入学共通テストの成績請求票番号」を取得する必要があります。手続詳細については、志願者に改めてご案内します。大学入学共通テストを受験しなかった場合（本学が指定する教科・科目を受験していなかった場合を含む。）及び本学が指定する期間にWebAPI連携の手続きをしなかった場合は、不合格となります。
- (2) 総合型選抜Ⅱの志願者は、本選抜に不合格となった場合に備えて、本学及び他の国公立大学・学部の一一般選抜に出願することができます。ただし、出願に際しては、志望する大学・学部等の各選抜区分の出願資格を満たしたうえで、新たに出願登録及び検定料納入することが必要となります。本学の学校推薦型選抜及び総合型選抜Ⅰとの併願はできません。
- (3) 総合型選抜Ⅱの合格者は、本学及び他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しても合格者となりません。ただし、本学へ「入学辞退届」を提出し、許可された者は除きます。

令和8年度 入試実施状況

①志願者数・受験者数・合格者数・入学者数

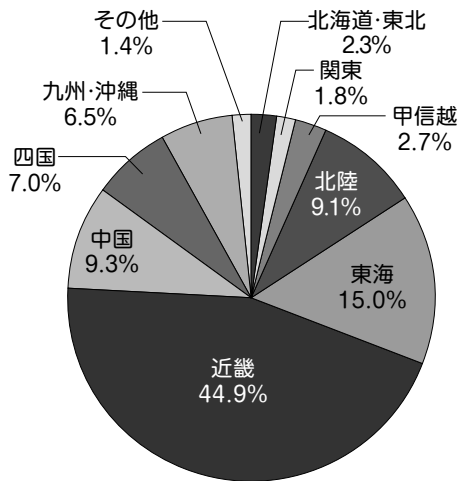
学部・学科	種別	選抜区分	募集人員	志願者	第1次選考合格者※	受験者	合格者	入学者	
地域経営学部・地域経営学科	総合	総合型選抜Ⅰ	6	49	20	20	7	7	
		小計	6	49	20	20	7	7	
	推薦	全国枠	20	45	—	44	20	20	
		地域枠	12	12	—	12	12	12	
		専門学科枠	3	4	—	4	3	3	
		小計	35	61	—	60	35	35	
	一般	前期日程(6教科型)	34	46	—	40	38	24	
		前期日程(3教科型)	15	64	—	57	48	33	
		後期日程	10	40	—	11	10	7	
		小計	59	150	—	108	96	64	
		社会人	若干名	0	—	0	0	0	
		私費外国人留学生	若干名	6	—	5	0	0	
	合計			100	266	20	193	138	106

※第1次選考は地域経営学部 総合型選抜Ⅰのみ実施

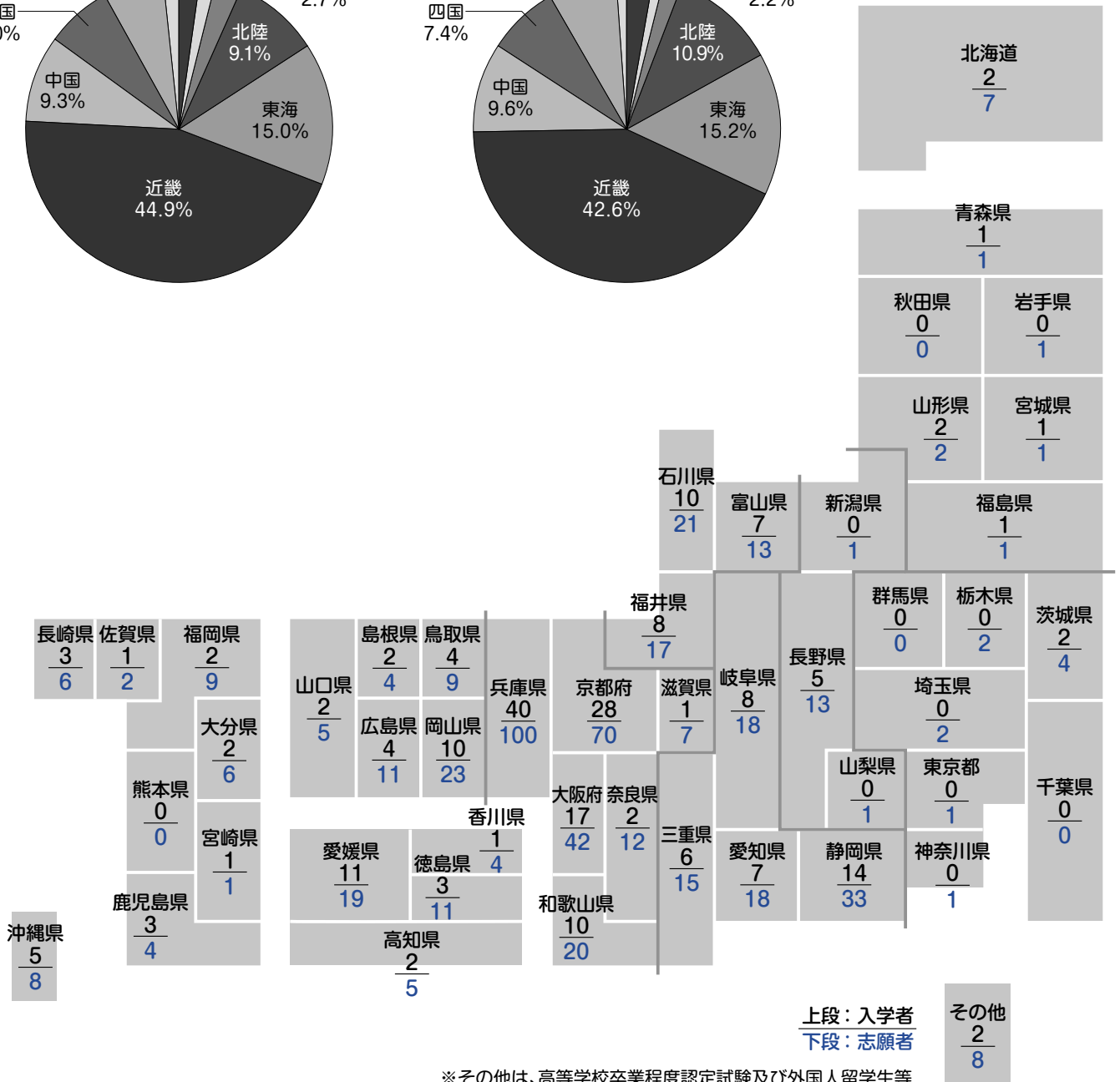
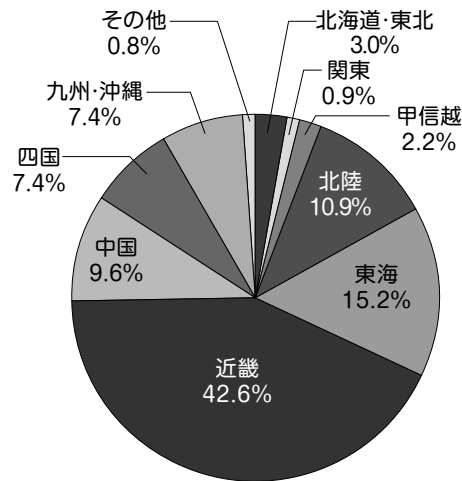
学部・学科	種別	選抜区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
情報学部・情報学科	総合	総合型選抜Ⅰ	5	44	43	7	7	
		総合型選抜Ⅱ	5	5	5	5	5	
		小計	10	49	48	12	12	
	推薦	全国枠	20	29	29	23	23	
		地域枠	10	7	7	7	7	
		専門学科枠	5	9	9	6	6	
		小計	35	45	45	36	36	
	一般	前期日程(6教科型)	45	61	56	54	39	
		前期日程(4教科型)	20	38	33	32	23	
		後期日程	10	100	21	20	14	
		小計	75	199	110	106	76	
		私費外国人留学生	若干名	0	0	0	0	
	合計			120	293	203	154	124

②地区別（都道府県）志願・入学状況

■地区別志願状況 (559人)



■地区別入学状況 (230人)



※その他は、高等学校卒業程度認定試験及び外国人留学生等

③地域経営学部 志願者出身高等学校一覧

北海道	岐阜県	西舞鶴	豊岡	徳島県	沖縄県
大樹	岐阜商業（県立）	海洋	生野	城南	糸満
登別明日	静岡県	峰山	村岡	城北	知念
岩手県	三島北	日吉ヶ丘	出石	富岡東	首里
水沢	静岡城北	紫野	和田山	池田	沖縄尚学
山形県	静岡東	鳥羽	東播磨	徳島市立	
東桜学館	藤枝東	菟道	伊丹（市立）	徳島北	
茨城県	掛川東	開建	三田西陵	海部	
太田第一	浜松南	京都共栄学園	神戸鈴蘭台	香川県	
水城	浜名	福知山成美	尼崎双星	高松東	
ルネサンス	静岡市立	日星	神戸市立工業高専	高松	
栃木県	伊豆中央	京都成章	神戸龍谷	高松南	
茂木	清流館	大阪府	夙川	愛媛県	
大田原	伊豆伊東	箕面	三田学園	小松	
東京都	東海大学付属静岡翔洋	清水谷	東洋大学附属姫路	松山南	
佼成学園女子	静岡北	山田	和歌山県	大洲	
新潟県	島田樟誠	槻の木	橋本	長浜	
北越	浜松啓陽	水都国際	田辺	宇和島東	
富山県	愛知県	桜和	新宮	宇和島南	
入善	安城	履正社	近畿大学附属和歌山	高知県	
魚津	西尾東	桃山学院	鳥取県	高知追手前	
富山北部	桜花学園	浪速	鳥取東	高知商業	
富山南	三重県	高槻	倉吉西	高知国際	
八尾	四日市西	香里ヌヴェール学院	米子西	福岡県	
氷見	津西	近畿大学附属	岡山県	宗像	
大門	相可	常翔啓光学園	岡山南	筑紫丘	
南砺福野	久居	追手門学院	倉敷青陵	九州国際大学付属	
石川県	名張青峰	大阪桐蔭	西大寺	福智	
鶴来	津田学園	兵庫県	総社	長崎県	
金沢桜丘	滋賀県	星陵	高梁	佐世保南	
金沢西	水口東	北須磨	瀬戸	佐世保北	
羽咋	米原	神戸商業	林野	長崎北陽台	
鹿西	近江	芦屋（県立）	明誠学院	西陵	
小松明峰	光泉カトリック	伊丹北	広島県	大分県	
野々市明倫	京都府	川西緑台	廿日市	高田	
能登	山城	川西明峰	五日市	大分鶴崎	
福井県	鴨沂	有馬	三次	白杵	
高志	桂	柏原	呉	宮崎県	
鯖江	桃山	明石南	広島国際学院	鵬翔	
美方	乙訓	社	山口県	鹿児島県	
若狭	園部	三木	下関南	伊集院	
金津	須知	千種	慶進	出水	
長野県	福知山	姫路商業		加治木	
上田	東舞鶴	太子			

④情報学部 志願者出身高等学校一覧

北海道	飯田	滋賀県	尼崎小田	八頭	佐賀県
旭川北	岐阜県	東大津	伊丹北	倉吉東	唐津南
クラーク記念国際	岐阜北	八日市	川西緑台	鳥取敬愛	長崎県
青森県	岐山	守山	猪名川	島根県	佐世保西
五所川原	岐阜商業（県立）	京都府	柏原	益田	大分県
宮城県	大垣南	山城	加古川西	吉賀	杵築
岩ヶ崎	大垣商業	亀岡	龍野	岡山県	中津南
山形県	関	福知山	姫路商業	倉敷工業	沖縄県
日本大学山形	恵那	工業	相生産業	笠岡	沖縄尚学
福島県	中津	西舞鶴	八鹿	笠岡工業	N
福島西	中津商業	日吉ヶ丘	和田山	瀬戸	
茨城県	可児	洛西	津名	和気閑谷	
土浦第二	鶯谷	南陽	東播磨	明誠学院	
埼玉県	静岡県	城南菱創	蒼合	岡山学芸館	
埼玉栄	三島北	宮津天橋	尼崎（市立）	鹿島朝日	
西武学園文理	沼津西	開建	尼崎稲園	広島県	
神奈川県	島田	花園	加古川北	東	
茅ヶ崎北陵	榛原	京都両洋	川西北陵	広島工業大学	
富山県	掛川西	京都女子	加古川南	山口県	
大門	浜松南	洛陽総合	神戸高塚	岩国	
南砺福野	浜松工業	京都共栄学園	姫路飾西	下関西	
石川県	浜松市立	大阪府	伊川谷北	下関南	
金沢桜丘	星陵	吹田東	北摂三田	徳島県	
鹿西	静岡北	三島	神戸鈴蘭台	脇町	
七尾	島田樟誠	生野	六甲学院	徳島科学技術	
小松明峰	藤枝明誠	河南	神戸星城	城ノ内	
金沢	愛知県	堺西	夙川	香川県	
星稜	五条	槻の木	三田学園	坂出	
福井県	安城	千里青雲	東洋大学附属姫路	愛媛県	
高志	安城東	大阪学芸	第一学院 養父校	小松	
羽水	西尾	開明	奈良県	今治西	
大野	西尾東	興國	奈良県立大学附属	松山東	
若狭	国府	浪速	帝塚山	松山北	
金津	小坂井	関西大倉	智辯学園	八幡浜	
山梨県	東海南	常翔学園	奈良学園	松山中央	
日本航空	西春	清風	智辯学園奈良カレッジ高等部	新田	
長野県	愛知総合工科	初芝富田林	和歌山県	高知県	
須坂	中部大学春日丘	大阪桐蔭	向陽	高知小津	
長野西	三重県	四天王寺東	海南	高知商業	
長野東	亀山	兵庫県	新宮	福岡県	
篠ノ井	津西	夢野台	開智	小倉南	
上田	松阪	伊川谷	近畿大学附属和歌山	嘉穂東	
伊那北	伊勢	神戸商業	鳥取県	筑前	
伊那弥生ヶ丘	三重	尼崎北	鳥取東	九州国際大学付属	

⑤総合型選抜・小論文・数学試験の全体講評

2026年度 地域経営学部 小論文試験についての全体講評

1. 出題の意図

出題の意図は、現代社会の課題をテーマにし、アドミッション・ポリシーに則して、教養と基礎学力に加え、資料や文章を読む力やその理解を表す力などの基本的なコミュニケーション能力を問うことにありました。現代社会の課題は広範で、一つの教科・科目には収まらなく、複数の教科・科目が重なり合って多かれ少なかれ関係していると言えます。

2. 採点・評価のポイント

出題は昨年度と同じく大問2題、出題形式は論述式でした。

問題1

問題1は英文を読む力と日本語の文章を書く力の両方を問う問題でした。英文の要約は一つのセンテンスあるいはパラグラフを直訳することではありません。また、英文に書かれていないことや自分が考えていることを書くものでもありません。要約は、英文が何を主張しているのかを把握し、その主張を中心にして英文全体の内容が含まれるように書かなければいけません。そして、もっとも大切なこととして、要約は日本語の文章として完結していなければいけません。解答用紙に書いた要約文を必ず読み直してください。

解答には字数の上限が課されていますから、書く内容を適切に取捨選択しなければいけません。たとえば、事例は主張を補強するために用いられます。限られた字数で書かなければいけない要約ですから、事例ではなく、筆者の主張を書くことが評価のポイントになります。文章を「要約する」とはどのようなことなのかを考えながら学習してください。英文に限らず、新聞の社説などを読んで要約するという学習は文章を書く力だけでなく、読む力も養成します。

問題2

問題2は図表が何を示しているのかを簡潔に説明できる力と、図表から何が読み取れるのかを論理的に記述できる力を問う問題でした。何かを伝えようとするとき、図表を用いることがあります。図表が有力な手段になるからです。しかし、図表は見ればわかる、ということではなく、図表をどのように見るのかについて、簡潔な文章に表すことが求められます。

図表を見てわかることは結果です。それが「読み取れること」で問われていることです。説明が求められている解答では、推測（と思う）や考察（と考える）の記述は適切ではありません。また、グラフの説明として、縦軸や横軸が何で、何がどんな色で、どのように描かれているかなどは、必要になるときがありますが、ここでの解答には必要ありません。必要のない記述に文字数を使わないようにしましょう。

結果には原因があります。原因は図表から推測することになります。そこでは、複数の教科・科目から得ている知識を駆使し、論理を展開することが求められます。推測される原因は一つではありませんから、正解もまた一つではありません。

評価のポイントは、問題が何を求めているのか、結果の説明なのか、原因の推測なのか、問題文を注意深く読んで、題意に則して簡潔に解答できているかどうかです。

福知山公立大学入試委員会
2026年3月31日

2026年度 地域経営学部 総合型選抜についての全体講評

1. 出題の意図

1次審査の出願書類では、地域社会の課題や問題等に関するこれまでの取り組み方について、アドミッション・ポリシーに即し、「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」「協働する態度」を評価基準に、自らの思考や判断する力ならびに地域社会の多様なアクターと主体的に協働する力を問いました。

2次審査のプレゼンテーションにおける出題の意図は、現代社会の諸問題をテーマにし、アドミッション・ポリシーに即して、幅広い教養と基礎学力に加え、資料を読み解き、経験や知識と関連付けて問題を設定し、多様な解決のアイデアを考え最も有効な提案にまとめ上げる力を問うとともに、その提案を他者にわかりやすく伝え、説得的なコミュニケーション力を問うことにありました。現代社会の諸問題は広範で、一つの教科・科目には収まらなく、複数の教科・科目が重なり合って多かれ少なかれ関係していると言えます。

2. 採点・評価のポイント

出題は、1次審査の出願書類に加え、2次審査のプレゼンテーションでの大問1題でした。

出願書類

これまでの経験や学習をとおして、自分がどう成長したのかを問う内容でした。したがって、個人あるいはグループ活動として行った内容の記載だけにとどまってははいけません。活動の中で自分が果たした役割、活動をつうじて自分が考えたことや得たことなど、自分なりに成長したと感ずることを記載しましょう。各項目で求められている内容をよく確認してください。

紙面は限られています。活動内容については、その概要が分かる程度で問題はなく、詳しく説明する必要はありません。学んで考えたことや身に付けた力を、しっかり書くようにしましょう。高校や協力者も含めた外部から得られた評価・結果のアピールではなく、自分自身がどのように評価しているのかがここでは求められます。やったことではなく、そこから得て身につけたことを書くことが評価のポイントになります。

日頃から、自分自身の成長を意識しながら学習や活動に取り組むと、自己評価をする力も養成されます。

プレゼンテーション

現代社会の諸問題に対して、複数の資料をもとにして、経験や知識を関連付けて問題を設定し、有効な提案にまとめ上げる力を問う内容でした。

プレゼンテーションでは、制作物も評価対象です。問題の背景、問題に対する自分自身の経験や知識、最も有効な提案と判断した理由や根拠が、制作物にも表現されていなければいけません。まとめる際の紙面の枚数は限られていますので、分かりやすく簡潔に表す必要があります。制作物だけをながめたとき、全体で1つのストーリーになっていることが分かるものになっているかどうかを、必ず確認してください。

口頭発表の時間は5分です。制作物に即して、時間を上手く使い、自分自身の主張を口頭で表現する力が求められます。

提案できることは一つではありません。考えられる複数の案から、自分が選択した案が最も適当であると考えられる根拠を示すことが大事です。また、当事者意識をもって問題に向き合っているかどうか、評価のポイントになります。

福知山公立大学入試委員会
2026年3月31日

2026年度情報学部小論文試験および数学試験についての全体講評

1-1. 小論文試験の出題意図

情報学部の小論文試験は、アドミッション・ポリシーにおける「数学や情報学の基礎的・基本的な知識・技能」、「幅広い知識・技能を活用できる思考力・判断力」、ならびに「自らの試行や判断を他者に伝える表現力」について評価することを主たる目的とした設問から構成されています。このため、社会で活用されている情報技術に関する文章やデータなどを題材とした問題を出題し、題材の内容を理解するための知識や理解力に加えて、理解した内容に基づいて考察する思考力と、設問に沿って論理的にかつ過不足なく思考した内容を記述する表現力を問う出題になっています。

1-2. 採点・評価のポイント

いずれの選抜区分でも、小論文の出題はそれぞれの題材に基づいた2つの大問（問題1と問題2）から構成されています。問題ごとの評価のポイントは以下の通りです。

問題1

問題1では、主に題材の内容に関する知識や理解力・思考力が問われ、理解したことを過不足なく表現することが期待される2問から構成されています。

問1では題材の文章が述べている内容や、技術と社会との関わりなどを的確に把握する理解力が問われました。また、問2では主に理解に基づいて思考する力が問われました。解答の論述においては、設問の前提となる題材に基づくことが重視されています。題材に関する知識あるいは理解に基づく思考の内容を適切な文章として表現することが必要でした。とくに、設問に対応する箇所を適切に抽出できる理解力と論点を明確にして思考する力が重視され、問われていることがらについて、適切に理解しているか、提示された問いについて考察を行っているか、その内容を指定の文字数の範囲で簡潔に記述できているかが評価のポイントでした。

問題2

問題2においては、問われたことについて自分自身の考えを記述することが求められています。その記述の明快さと論理展開の適切さが評価のポイントです。題材として提示された記事の内容を理解し、その理解に基づいて設問に沿って考察する思考力、および考察した内容を適切に述べる表現力が求められています。一部の選抜区分に、図（グラフ）を読みとって計算を行い解答する設問がありました。そこでも、題材として提示されたデータが示している状況を理解する能力と、さらに正解を導くための思考力を身に付けていることが求められました。

問題2においては、計算を必要とする箇所を除いて、唯一の明らかな正解は存在しません。しかし、題材に含まれない内容や、題材において否定されている事実に立脚した論述は適切ではありません。また、設問で指定されていることから逸脱した論理の展開や事例の提示なども、適切な解答ではありません。問いの前提となる仮定や事実を把握すること、そしてそこから自分自身で考えて結論を導くことが重要です。評価においては、導かれた結論の良し悪しではなく、なぜそのように考察したのかについて、題材と設問に立脚しつつ簡潔かつ明快に述べているかを重視し、現実的な観点からの考察であるかなどの要素も踏まえた評価がなされました。

2-1. 数学試験の出題意図

情報学部の数学試験は、アドミッション・ポリシーにおける「数学や情報学の基礎的・基本的な知識・技能」、「幅広い知識・技能を活用できる思考力・判断力」、ならびに「自らの試行や判断を他者に伝える表現力」について評価することを主たる目的とした設問から構成されています。4つの大問からなり、全て教科書の章末問題レベルの難易度です。基礎的な計算力を確認するとともに、題意を理解し筋道をたてて解答する力を問う問題を出題しています。全ての問題を記述式の解答形式にしており、数学の知識・技能および思考力・判断力に加えて、解答を導くアプローチを記述する表現力も評価しています。

2-2. 採点・評価のポイント

数学の出題は、4つの大問（問題1～4）から構成されています。問題ごとの評価のポイントは以下の通りです。

問題1

5つの小問（(1)～(5)）からなります。(1)は三角関数の性質や定理を使うことができるかどうかを問うています。(2)は平均値と分散の定義を知っているかを確認し、そこから計算式を立てて問われている値を求めることができるかを見ています。(3)は部分分数分解の確認であり、特に分母に2次以上の因子が含まれているときの分解ができるかを問うています。(4)と(5)は微分・積分の計算力を問うています。合成関数の微分と部分積分の計算ができるかどうかを確認しています。

問題2

有理関数（分数関数）のグラフを作成する問題です。3つの小問（(1)～(3)）からなり、小問は関数のグラフを描くために必要な手順が順に並んでいます。(1)では、関数の極限を調べることができるかを問うており、(2)は有理関数の微分をすることで極値を調べることができるかを問うています。(3)でグラフの概形を描きますが、特に不連続点が2つあること、極値の符号、負または正の無限大への極限が0に向かうことが重要でした。

問題3

複素数平面上を動く点がどのような軌跡を描くかを問う問題です。2つの小問(1)と(2)からなり、(1)はよく知られる垂直二等分線上を動く点の方程式です。(2)は複素数の絶対値の計算とそれを含む方程式を上手く変形することができるかを確認しています。

問題4

三角関数を用いた方程式について、解をすべて求める問題です。3つの小問（(1)～(3)）からなり、最後の小問(3)は題意を正確に読み取る力が試されます。(1)は定められた変数の範囲の中で方程式の解を列挙することができるかを問うています。(2)はいわゆる三角関数の和積の公式を用いることで、方程式を書き換える必要があります。(3)は問題の設定をよく理解した上で、命題が指す値が何であるかを把握しなければなりません。問題を考えるための方程式とその解法は(2)と同じであり、あとは丁寧に論証できるかどうかを試しています。

⑥地域経営学部 一般選抜前期日程 小論文試験問題

問題1 次の英文の要約を200字以内の日本語で書きなさい。

The government seems to have finally gotten around to legal restrictions for artificial intelligence, but when it says it will “spend several years discussing the issue,” one wonders if it seriously intends to regulate AI.

The government should take head-on the various risks surrounding AI. One option is to change its conventional approach from a heavy emphasis on promoting AI and restart the debate from scratch.

So far, the government has been reluctant to regulate AI, and tried to let the industry self-regulate so that AI development can drive economic growth.

However, there are risks with AI, such as that it will be used to create elaborate fake videos for criminal ends and that personal information will be collected without permission.

Last year, the United States regulated AI development for security purposes through an executive order [1]. This month, the European Union also enacted the AI Act, which comprehensively regulates AI. It intends to apply the law to member states from as early as 2026.

The EU’s AI Act aims to protect democracy and human rights from AI. The law prohibits the development of AI and other technologies that automatically collect photos of people’s faces online and compile them into a database.

In light of these efforts in the United States and Europe, the government has now begun to consider AI regulations. Based on the government’s policy, its AI Strategy Council, chaired by University of Tokyo Prof. Yutaka Matsuo, will reportedly consider specific measures for regulations.

One proposal that has been floated is for the government to require developing firms to conduct safety inspections to ensure that AI does not provide answers that could encourage crime or leak personal information.

If such measures are implemented, the safety of AI is expected to improve. However, even if the government actually implements the regulations, it is said to be looking to do so several years from now.

In addition, the AI Strategy Council intends not to look at how to protect copyrighted works in the regulations.

Under the Copyright Law, which was revised in 2018, AI developing companies are allowed to make AI learn copyrighted works without the permission of the copyright holders.

Creators and others, whose works are being used to develop products, have criticized the law, saying that it could hinder their creative activities.

If such a situation is left unchecked, people could lose the motivation to create writings, paintings and other works, and art and culture could decline. The government should move quickly to revise the Copyright Law again.

But more fundamentally, is it appropriate to leave discussion of regulations to the AI Strategy Council, which has strongly promoted the use of AI? If the government intends to come up with effective measures, it needs to consider changing the forum for discussion.

(出典：Editorial: Legal Restrictions on AI: Face up to Risks and Restart Debate, The Japan News, May 24, 2024, 原文のまま)

[1] an executive order：大統領令

- 1 -

- 2 -

問題2 次の二つの図は、令和6年版「観光白書」からの引用である。これらの図に基づいて、以下の設問に答えなさい。

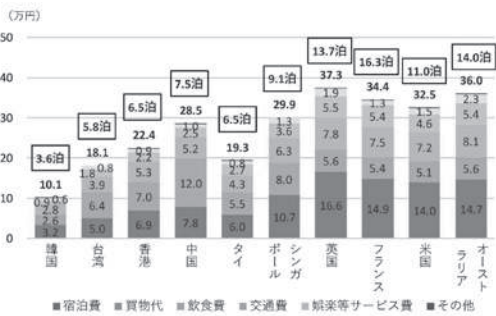


図1 国籍・地域別消費単価及び平均消費 (2023年)

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」(観光・レジャー目的、2023年)により作成。
注1：特内の数値は平均消費を示す。

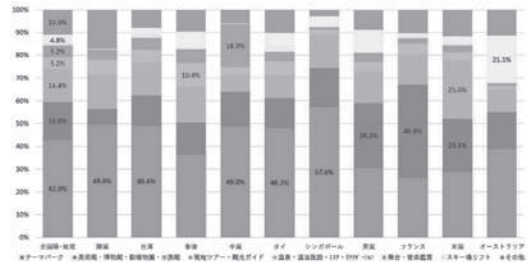


図2 国籍・地域別の娯楽等サービス費の構成比 (2023年)

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」(観光・レジャー目的、2023年)により作成。
注1：その他は、「ゴルフ場・スポーツ施設利用料」、「スポーツ観戦」、「マッサージ・医療費」、「展示会・コンベンション参加費」、「レンタル料(レンタカーを除く)」、「その他娯楽等サービス費」を合計したもの。

設問

問1 図1から読み取れることについて、200字以内で書きなさい。

問2 図1と図2を踏まえて、訪日外国人旅行者の消費行動の傾向と推測される問題あるいは課題について、250字以内で書きなさい。

- 3 -

- 4 -

⑦地域経営学部 学校推薦型選抜 小論文試験問題

問題1 次の英文の要約を200字以内の日本語で書きなさい。

Bookstores are cultural centers for local communities that connect people with books. Their existence is also deeply connected to people's education and character building. It is necessary to halt the decline in the number of bookstores and enhance momentum to protect them as a foundation of knowledge.

The government has announced a plan to vitalize [1] bookstores. To reduce the high rate of unsold newly released books and magazines returned to publishers, which is said to be one of the causes of rising book distribution costs, the government will hold study sessions together with people related to the industry and aim to improve the operational efficiency of bookstores through the widespread use of IC tags.

In addition, the government, across its ministries and agencies, intends to support bookstores through such means as strengthening efforts to lower fees for cashless payments, which are a heavy burden on bookstores, and encouraging people to open new stores.

The gross profit margin rate for bookstores remains at around 20%. Due to the delay in digitalization, some bookstores are unable to manage sales and inventory the way they want to. Although the efforts of the bookstores themselves, of course, are necessary, the hope is that the government and the industry will deepen cooperation and do their utmost to work to resolve these issues.

The number of bookstores is rapidly decreasing in many parts of the country, and the number of municipalities without a single bookstore has increased to more than a quarter of the total. There are many municipalities without bookstores in rural areas, and in some cases there are no libraries in those locations either. This is a serious problem that could lead to a "knowledge gap" with urban areas.

In some foreign countries, central governments are actively involved in promoting bookstores. France has introduced a "Culture Pass" system for young people to support the purchase of books and other cultural activities. Germany has established a system to award small bookstores that have special characteristics, among other efforts.

It cannot be said that the measures taken by the government in Japan to protect print culture and the reading environment have been sufficient so far.

In February this year, The Yomiuri Shimbun and Kodansha Ltd. announced a joint proposal aimed at promoting bookstores. The government's plan is in line with the content of this proposal. It is hoped that all parties involved will share a sense of urgency and work to enhance the vitality of bookstores so they will not disappear.

Unlike online bookstores, bookstores in towns offer the chance to encounter an unexpected book. While browsing the shelves of a bookstore in a field in which you have little interest, you may become curious about a book and pick it up, which could later change your life.

Bookstores also play a major role as a distribution center for the "content industry," which includes manga and anime. Japanese manga and anime are highly regarded overseas, and many overseas fans come to Japan to make "pilgrimages" [2] to places where stories and scenes are set. The decline in the number of bookstores could lead to the loss of the function of bringing new works to the world.

The growing trend of people moving away from reading books is serious. According to a survey by the Cultural Affairs Agency, 60% of respondents said they do not read even one book a month. It is also necessary to devise ways to increase the number of people who read books, such as by providing opportunities for people to become familiar with books with the help of picture book specialists and instructors who guide people in reading aloud.

(出典：Editorial: Vitalization of Bookstores: Expand Opportunities for People to Encounter Books, The Japan News, June 11, 2025, 原文のまま)

[1] vitalize：活性化させる

[2] pilgrimages：聖地巡礼

- 1 -

- 2 -

問題2 次の二つの図は、令和6年版『情報通信白書』からの引用である。これらの図に基づいて、以下の設問に答えなさい。

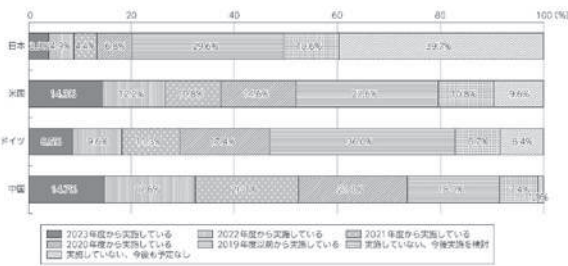


図1 デジタル化の取組状況 (各国比較)

※ デジタル化に取り組んでいる企業を抽出するためのスクリーニング調査の結果に基づく。

(出典) 総務省 (2024) 「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用に関する調査研究」

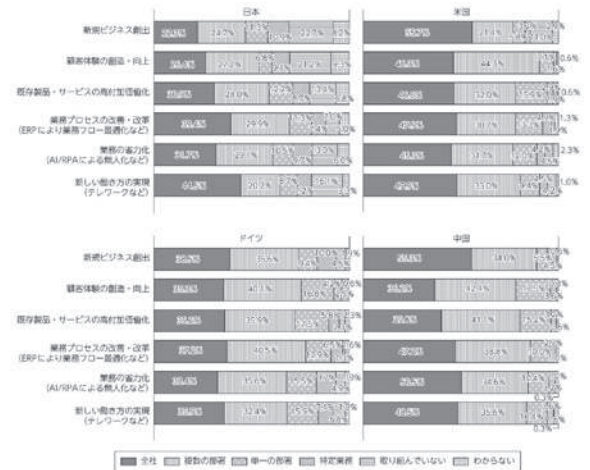


図2 デジタル化推進に向けて取り組んでいる事項 (各国比較)

(出典) 総務省 (2024) 「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用に関する調査研究」

設問

問1 図1から読み取れることについて、150字以内で書きなさい。

問2 図1と図2を踏まえ、日本企業がデジタル化を推進していく上で直面している課題と、それに対する解決策について、250字以内で書きなさい。

- 3 -

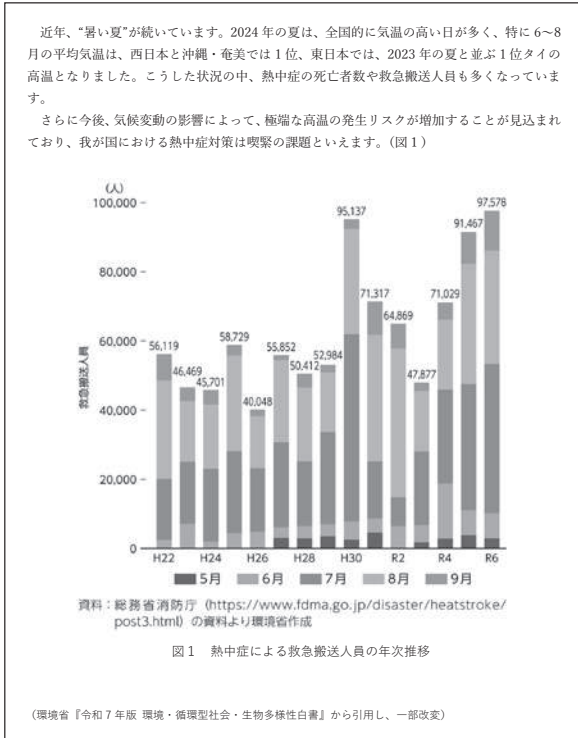
- 4 -

⑧地域経営学部 総合型選抜Ⅰ プレゼンテーション準備試験問題

問題 配布された資料は、日本の熱中症対策についてのものです。この資料と、あなた自身の経験やこれまでの学びと関連づけながら、その背景や要因を整理してください。その上で、解決に向けた複数のアイデアを検討・比較し、あなたが最も有効だと考える提案をまとめてください。

資料 2

資料 1



社説：熱中症対策 職場ははじめ徹底を

「災害級」の暑さを見越し、熱中症対策にいっそう力を入れたい。

あさっての1日からは職場の対策が罰則付きで義務化される。

厚生労働省の統計によると、職場の熱中症による死傷者は昨年、過去最多の1195人となり、うち30人が命を落とした。日差しの厳しい屋外や、熱のこもりやすい工場や倉庫での作業が多い建設、製造、運送関連が目立つ。

発見が遅れたり、異常時の対応の不備があったりして、重篤化につながっていた。

このため、気温31度以上などの環境下で連続1時間以上、または1日4時間を超える作業を対象に、熱中症疑いのある人の報告体制や、悪化防止策を事業所ごとに定めることを求める。労働者への対策の周知も必要になる。

息ると、6月以下の拘禁刑、または50万円以下の罰金が事業者に科されることがある。安全管理に万全を期してもらいたい。

温暖化により、記録的な高温になる日は増え、2024年夏の平均気温は、前年と並び、観測史上最も暑い夏だった。

消防庁によると、24年5～9月に熱中症で救急搬送されたのは9万7千人強と統計開始から最多で、京都と滋賀は計3400人近くに上った。国は気温や湿度などに基づく「暑さ指数」を導入し、「熱中症警戒アラート」を出すなど早期の予防や対策を促している。

年々暑くなるのも早まっており、梅雨の時期からの発症増加に、専門家が警鐘を鳴らす。風通しの悪い室内は特に注意が必要。湿度が高くなるため、汗が乾かず、体内に熱がこもる上、のどの乾きも感じにくい。

対策では、エアコンや扇風機の適切な使用のほか、窓を開けての風通しも一定の効果がある。水分と塩分の補給も意識してほしい。

救急搬送された人の6割近くを高齢者が占めており、場所も住宅が約4割に達している。お年寄り世帯にも声を掛け合うなど気を配りたい。

学校では、屋外授業や部活動などで、発症のリスクを見極めた実施の判断や回避の工夫が求められるよう。

さらに暑さが本格化する前に、いまから屋外で散歩するなどして体を慣らす「暑順化」も重要である。

気象庁によると、6～8月の気温は全国的に平年より高く見通し。職場のほか、学校や地域それぞれの着実な取り組みと備えを進めて、酷暑を乗り切りたい。

(京都新聞 2025年5月30日付から引用)

2025年5月30日 京都新聞 (利用許諾済み)

- 1 -

- 2 -

⑨情報学部 一般選抜前期日程 小論文・数学試験問題

小論文

問題 1 次の文章は『NHK NEWS WEB(2025年4月1日 5時24分)』からの引用(一部抜粋)である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

ネットのひぼう中傷 SNS 事業者に迅速な対応を求める改正法 施行

インターネット上のひぼう中傷などの投稿について、SNS の運営事業者に対し、被害を受けた人への迅速な対応を求める改正法が4月1日に施行されました。事業者への対策の強化で被害を減らすことができるかが課題となります。

SNS などインターネット上でのひぼう中傷の書き込みをめぐっては、被害を受けた人が削除を求める際に申請窓口がわかりにくいなど、事業者の対応が不十分だと指摘されています。このため、1日に施行された改正法では、事業者に対し、ひぼう中傷など権利の侵害があった場合に投稿の削除の申し出を受け付ける窓口を整備するほか、削除の申し出があった場合、速やかに調べて7日以内に判断して被害者に通知することを求めています。

施行に伴って、総務省はプライバシーや著作権といった権利を侵害する文言や法令違反に関わる内容が入った投稿など、事業者に削除などを求める対象を例示したガイドラインを公表しています。

また、総務省は3月、インターネット広告を通じて偽情報などの拡散が助長されるのを防ぐため、広告主の企業に対応を求める指針の案も公表していて、一連の取り組みで被害を減らすことができるかが課題となります。

情報流通プラットフォーム対処法について、SNS では「政府による SNS 規制だ」とか「政府によって言論が弾圧される」などとする不正確な情報が広がっています。

NHK が SNS の分析ツール「Brandwatch」で調べたところ、「SNS 規制」ということばを含む X の投稿は3月に入って以降、30日間でリポストを含め100万件を超えています。投稿が増えたのは、法律が施行される日が4月1日に決まった翌日の3月12日で、1日で21万件を超えていました。

法律が「SNS 規制だ」とか「政府による言論統制だ」などとする主張が多く拡散し、合わせて少なくとも2,000万回以上見られていましたが、今回の法律は SNS などを運営する事業者に対して、ひぼう中傷など権利が侵害される投稿があった場合に、投稿の削除といった対応の迅速化などを義務づけるもので、いずれの主張についても総務省は否定しています。

さらに「国会の審議もなく決定された」などとする誤った情報も広がりましたが、法案は去年の国会で審議されたうえで、衆議院では全会一致、参議院では賛成多数で成立しています。

設問

問 1 この文章は、情報流通プラットフォーム対処法の施行について述べている。情報流通プラットフォーム対処法が施行されたねらいを200字以内で要約しなさい。

問 2 この文章で、SNS では不正確な情報が広がりやすいことが述べられている。この理由と対策について、あなたの考えを300字以内で述べなさい。

- 1 -

小論文

問題 2 次の文章は、『読売新聞(2023年4月19日 電子版 yomiDr. ニュース解説)』からの引用(一部抜粋・一部改変)である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

社会のあらゆる分野でデジタル化が進む中、インターネットに不慣れた高齢者らを取り残される「デジタルデバイド(情報格差)」の解消が課題となっている。高齢者向けのスマートフォン教室や相談会などを通じて、「通話」以外の使い方を定着させる取り組みが活発になっている。

「散歩の後に飲むアイスコーヒーは最高！」
「私は展望室からの眺めを撮影しました」

東京都墨田区が2021年度から始めたデジタルデバイド解消事業には、平均年齢80歳の区民約50人が、3〜5人のグループに分かれて参加している。日々の出来事に関するコメントや、お気に入りの風景を取った写真画像などを、スマホを通じて投稿し合う。「仲間と楽しみながら、スマホの“日常使い”を定着させる」(高齢者福祉課)という狙いだ。

事業の背景には、新型コロナウイルスワクチン接種を巡り、ネットが使いこなせない高齢者が予約に手間取ったという苦い経験がある。区は行政手続きのオンライン化を進めるにあたって、区民の意識調査で、70歳以上のスマホ保有割合が約6割に上る一方、「通話以外に機能を使いこなせない」との声が多い点に着目した。スマホでの文字入力や写真撮影・投稿の習慣化を支援するアプリの開発会社と連携し、対策に乗り出した。2023年度はさらに参加者を増やすほか、スマホ操作に関する相談会を開いて、活用に興味を持つシニア層のすそ野を広げていきたい考えだ。

参加者の一人でスマホを使い始めて約1年のAさん(87歳)は「散歩中に地図を調べたり、バスなど公共交通の乗り換え案内を検索したりと、スマホの利用の幅が広がった。行政手続きでも積極的に使いたい」と語る。本アプリは2022年度時点で、東京都内ほか全国自治体で活用され、2023年度はさらに広がる予定だ。デジタルデバイド対策と併せ、高齢者の健康作りや社会参加を通じた介護予防にもつなげる効果を期待している。

設問

問 ここに書かれているように、高齢化が進む地域のデジタルデバイドの解消は社会課題のひとつとなっている。ここで取り組みは、スマートフォンの利用にとどまらず、さまざまな情報サービスの基盤となることが期待されている。利用者はどのようなサービスを求めるか、またそのサービスの実現や ICT(情報通信技術)の利活用がどのように地域の課題を解決していくかについて、あなたの考えを300字以内で述べなさい。

- 2 -

数 学

問題 1 以下の問いに答えよ。

- $0 < \alpha < \frac{\pi}{2}, 0 < \beta < \frac{\pi}{2}, \tan \alpha = 3, \tan \beta = \frac{1}{3}$ であるとき、 $\cos(\alpha + \beta)$ の値を求めよ。
- 変数 x の n 個のデータ x_1, x_2, \dots, x_n が与えられており、その平均値 \bar{x} と分散 s_x^2 がそれぞれ $\bar{x} = 2$ と $s_x^2 = 16$ であるとする。また、変数 y のデータは $y_i = ax_i + b$ (a, b は定数) で得られ、その平均値 \bar{y} と分散 s_y^2 がそれぞれ $\bar{y} = 5$ と $s_y^2 = 64$ であるとする。ただし、 i は1以上 n 以下の整数とする。このとき、 a と b の値を求めよ。
- 等式 $\frac{-x^2 + 2}{(x-1)^2(x-2)} = \frac{a}{(x-1)^2} + \frac{b}{x-1} + \frac{c}{x-2}$ が x についての恒等式であるとき、定数 a, b, c の値を求めよ。
- 関数 $y = (\log x)^2 - \log(\log x)$ の導関数を求めよ。
- 定積分 $\int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} x \sin 3x \, dx$ の値を求めよ。

数 学

問題 2 関数 $f(x) = \frac{2x-5}{x^2-5}$ について、以下の問いに答えよ。

- 極限值 $\lim_{x \rightarrow 0} f(x)$ と $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x)$ をそれぞれ求めよ。
- $f(x)$ の極大値と極小値を与える x の値をそれぞれ求めよ。
- $y = f(x)$ のグラフの概形を描け。ただし、凹凸は調べなくてよい。

数 学

問題 3 z を複素数とし、 i を虚数単位とする。以下の問いに答えよ。

- 次の方程式を満たす点 z の全体を複素数平面上に図示せよ。
 $|z| = |z - 1 - i|$
- 点 z が(1)の方程式を満たしながら動くとき、 $w = \frac{z-1}{z+2}$ で表される点 w は複素数平面上でどのような図形を描くか答えよ。

数 学

問題 4 以下の問いに答えよ。

- $0 \leq x < 1$ における $\sin 8\pi x = 1$ を満たす x の値をすべて求めよ。
- $0 \leq x < 1$ における $\sin 8\pi x = -\sin 6\pi x$ を満たす x の値をすべて求めよ。
- $f(x) = \cos 200\pi x$ とする。また、 m を整数として $g_m(x) = \cos 2m\pi x$ とおく。 n を正の整数とすると、次の命題 $P(n)$ が真となるような n の値をすべて求めよ。

$P(n)$: 0 以上 100 未満の整数 m で、 $k = 0, 1, 2, \dots, n-1$ について、 $f\left(\frac{k}{n}\right) = g_m\left(\frac{k}{n}\right)$ が成り立つものが存在する。

⑩情報学部 学校推薦型選抜 小論文試験問題

問題1 次の文章は、『朝日新聞 電子版(2025年5月9日配信)』からの引用(一部抜粋)である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

ごみ収集、AIで効率化へ

ごみ収集車に設置した人工知能(AI)センサーで、ごみ排出量のデータを取得する取り組みを神奈川県鎌倉市と慶応大 SFC(湘南藤沢キャンパス) 研究所などが進めている。ごみ収集の効率化や減量につなげる目的だ。

AIセンサーは2023年から取り付け始め、現在、約30台中17台に搭載している。車の後部カメラで撮影した映像から、車載のAI搭載機器で燃やすごみを袋単位で計測。収集した時間と場所のデータを研究所に送信する。ごみの映像は送信せず、プライバシーに配慮するという。

中沢仁教授(環境情報学)は「ごみ袋の数と大きさのデータをリアルタイムで取れるのが技術上の強み。詳細なごみの出方を把握することで適時・適切な政策の実施が可能になる」と話す。

市は4月から市内の七里が浜地区など約1万世帯で燃やすごみの戸別収集を始めた。従来のクレーンステーション(集積所)に出されたごみの量と比較し、減量効果を検証する。先行する他の自治体では、分別が進み、燃やすごみが減ったという報告がある。

ごみの量が多い地域に少ない地域の収集車を回すこともでき、「収集の効率化が期待できる(市の担当者)という。

「朝日新聞社に無断で転載することを禁じる」
【承諾番号 26-0842】

設問

問1 下線部の目的を達成するための具体的な方策と、その効果について、記事本文を参照して160字以内で説明しなさい。

問2 この文章では、ごみ収集作業にAI技術を導入することによりごみ排出量を減らし、さらにごみ収集作業を効率化することを目的とした取り組みが紹介されている。これらの目的を達成するために有効な、情報技術を活用したその他の方策を考え、180字以内で説明しなさい。なお情報技術としてAI以外の技術を活用するものであっても良い。

1

問題2 次の文章は、『令和6年版 情報通信白書』からの引用(一部改変・一部抜粋)である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

能登半島地震における偽・誤情報について

能登半島地震において、SNSは情報収集手段や安否確認手段として寄与していた一方で、SNS上では、迅速な救命・救助活動や円滑な復旧・復興活動を妨げるような偽・誤情報が流通したと指摘されている。

X(Twitter Japan社[®])によれば、X(旧Twitter)における能登半島地震に関する偽・誤情報を含む投稿の主なものとして、今回の地震が「人工地震」であるとの言葉を含む投稿が約10万件、「窃盗団」(が現地に出没)に関する投稿が約200件、「支援要請」(偽の寄付を募るもの)に関する投稿が約350件、「救助要請」に関する投稿が約21,000件あったとされる。

また、日本ファクトチェックセンター(JFC)では、能登半島地震をめぐる大量の偽・誤情報の拡散を踏まえ、継続的に情報を検証し、事実確認を実施している。2024年1月27日には、災害発生時から復旧・復興など、それぞれの段階で何が話題になるかの傾向について、整理・公表した。災害時に広がる偽情報5つの類型を分類するとともに、『志賀原発から海上に油19,800リットルが漏れ始めた』は誤り、『仮通貨で寄付を呼びかけるサイト』は誤りといったファクトチェック記事を公開している。

情報通信研究機構(NICT)が開発・試験公開した災害状況要約システムD-SUMM(ディーサム)でのX(旧Twitter)における投稿分析によれば、今回の能登半島地震では、発災後24時間の間に投稿された救助を求める報告の数(総報告数16,739のうち1,091)が、2016年の熊本地震の際の報告数(総報告数19,095のうち573)と比較して倍増した。この1,091件のうち254件の投稿で矛盾報告が検出され、デマと推定できたのは104件であった。システムが分析するのはXの日本語投稿の10%であるが、熊本地震の救助を求める報告数(573)の中で、偽情報とみられたものは1件であり、今回の能登半島地震において、SNS上で偽情報がより多く投稿されていたことが分かった。(以下略)

※現在の「X Corp. Japan 株式会社」

設問

問 災害発生時には、災害情報や避難情報を確実に取得することが重要となるといわれている。偽・誤情報を排除し、正しい情報を得るためにはどのような行動が必要になるかについて、あなたの考えを200字以内で述べなさい。

2

⑪情報学部 総合型選抜 I 小論文試験問題

問題1 次の文章は、『日本経済新聞(2023年4月6日電子版)』からの引用(一部抜粋・一部改変)である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

2025年国際博覧会(大阪・関西万博)は決済手段を全面的にキャッシュレス化する。決済手段の一つとして独自のスマートフォンアプリを導入し、同時にポイントサービスも始めて来場促進に活用する。会場内の売店やレストランといった事業者が多様な決済方法に対応できるか、また来場者が不便を感じないようにできるかが課題となる。

大阪・関西万博の運営主体である日本国際博覧会協会が6日、万博会場内の決済手段を原則キャッシュレスとする方針を打ち出した。目玉となるのが決済アプリ「EXPO2025 デジタルウォレット」*だ。アプリには銀行口座やクレジットカードから電子マネーをチャージでき、利用額に応じてポイントが付与される。大手金融機関などがアプリの開発・運営を担当する。アプリは万博の会期前でも協賛する店舗などで使えるようにする。ポイントサービスでは、たまったポイントを万博の入場券や記念品などと交換できるようにする。万博への参加の動機づけにしたい意向だ。会場内ではアプリ以外にも、クレジットカードや交通系IC、QRコード決済などが使用可能となる。約60種類の決済手段が使用可能となる見通しである。海外の決済事業者にも参加を呼びかける。

会場内の売店やレストランのほか、キッチンカーにおいても全面的にキャッシュレス化する。事業者は釣り銭の準備など現金の管理コストが削減できる一方、多様な決済手段に対応するため従業員への教育など追加費用の増加が見込まれる。協会の担当者は「事前の説明会や研修をおこなうことでサポートをしていきたい」と説明する。キャッシュレス決済に不慣れた高齢者などにとっては来場への抵抗感につながる可能性もある。協会はこうした不安を念頭に、キャッシュレス決済の方法などを案内する相談所を会場内へ設けることを検討している。また、現金以外の決済手段を持たない人を想定してプリペイドカードを会場内でも使えるようにすることも考えている。

大阪・関西万博は2025年4月から6カ月間開催され、期間中には1日15万~16万人程度の来場が予想されている。協会は会場を日本のキャッシュレス推進のための実証実験の場として位置づける。

*1 会期前から利用者に参加いただけるプログラムとして「つかう/ためる/あつめる」機能と「つながる」機能がある。(EXPO2025公式ページから)

日本経済新聞 電子版・2023年4月6日
【承諾番号 001999】

設問

問1 この文章に代表されるようなキャッシュレス決済は、万博開催においてどのような課題が解決できるか、120字以内で書きなさい。

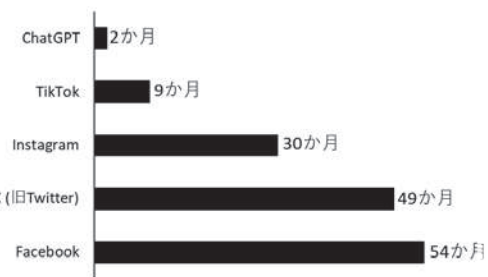
問2 この文章に代表されるキャッシュレス決済やアプリは、さらにもどのような発展をもたらさうのか、またこのようなICTの導入が引き起こすかもしれない社会的不安や問題をどのように解決すべきか、この2点について、あなたの考えを240字以内で書きなさい。

1

問題2 次の文章は、『令和6年版 情報通信白書』からの引用(一部抜粋・一部改変)である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

生成AIの急速な進化と普及

ディープラーニングの基盤技術により、AIの性能が飛躍的に向上したことで、様々なコンテンツを生成できるAIが誕生した。「生成AI」は、テキスト、画像、音声などを生成できるAI技術の総称であり、2022年のOpenAIによる対話型AI「ChatGPT」の発表を契機に、特に注目された分野である。ChatGPTは、わずか5日で100万ユーザーを獲得し、さらに公開から2か月後にはユーザー数が1億人を突破するという、これまでのオンラインサービスなどと比較しても驚異的なスピードでユーザー数が拡大している(図参照)。OpenAI以外にも、大手企業からスタートアップ企業まで多くの企業が生成AIの開発を発表し、世界的な開発競争が起こっている。



図：各種サービスにおける1億ユーザー達成までにかかった期間

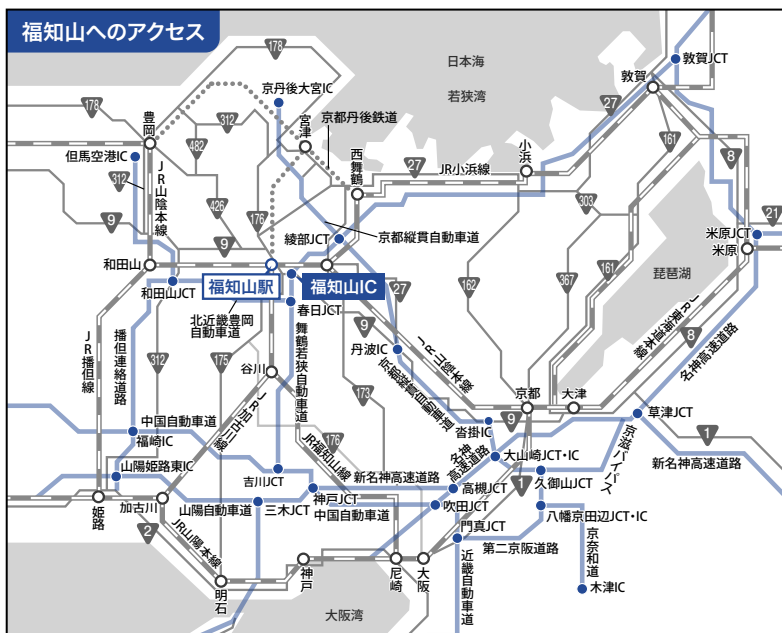
設問

問 オンラインサービスのユーザー数が、公開後の日数の二乗に比例すると仮定した場合、ChatGPTにおける比例係数は、Instagramにおける比例係数の何倍と考えられるか、図を参照して計算しなさい。なお、1か月の日数は全て同じと考えて良い。

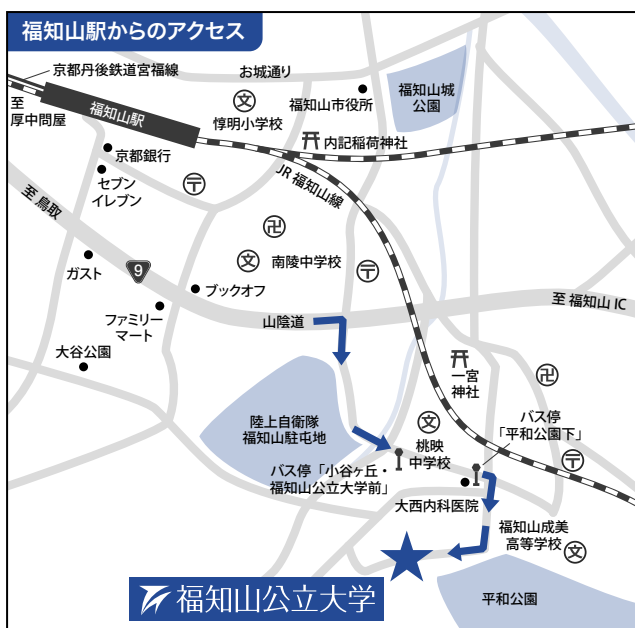
また、ChatGPTに代表される生成AIに関しては、有用性だけでなく危険性も指摘されている。一例として、本物そっくりで作成されたフェイク画像・フェイク動画は、既に社会的な問題となっている。フェイク画像・フェイク動画に関して、あなたが問題だと考える具体的な事例を一つ上げ、その理由について120字以内で説明しなさい。

2

アクセス



- JR京都駅→福知山駅 最短75分
- JR大阪駅→福知山駅 最短91分
- 大阪なんば→福知山駅 107分(高速バス)
- 神戸三宮→福知山駅 90分(高速バス)



- 福知山駅北口より京都交通バス堀循環線にて「平和公園下」または「小谷ヶ丘・福知山公立大学前」下車、徒歩6分。
- 福知山駅南口よりタクシーにて5分。
- 徒歩にて30分。

SNS

各種SNSで、福知山公立大の「今」を発信中!

<p>Facebook</p>	<p>LINE</p>	<p>X</p>	<p>Instagram</p>	<p>Youtube</p>
-----------------	-------------	----------	------------------	----------------

福知山公立大学 入試係

〒620-0886 京都府福知山市字堀3370 TEL 0773-24-7100 FAX 0773-24-7170
 E-mail admission@fukuchiyama.ac.jp URL https://www.fukuchiyama.ac.jp/

